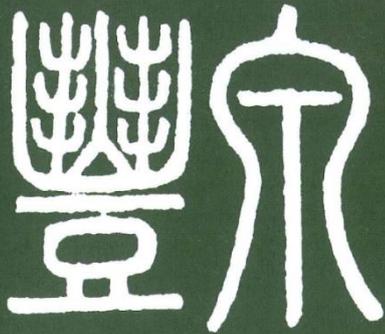


ほうせん



豊泉（ほうせん）とは 本学図書館が「汲めども尽きぬ豊かな知の泉であるように」との思いから、松原邦明名誉教授により名づけられました。（出典：明治9年『仏国学制』（文部省翻訳・出版）附録上巻「学校ニ於テ教フル所ノ学科ノ外ニ、又人智ヲ広ムルノ豊泉アリ」



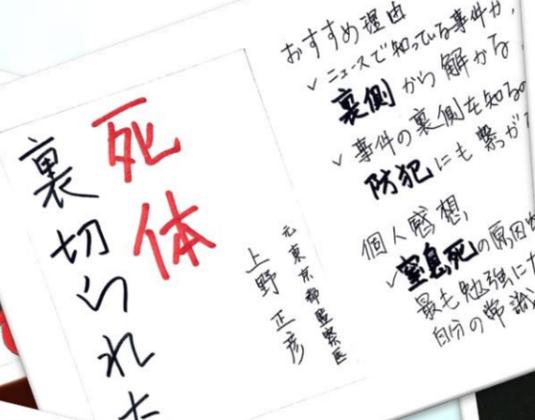
## 特集：第6回附属図書館POPコンテスト受賞者発表

- 06 図書館長に聞く
- 07 本との出会いを楽しむ〈第25回〉教師の本棚 「大切なあなたへ」  
(弘前大学 教職大学院 花田美衣氏)
- 08 本を持って出かけよう〈第1回〉～太宰治と弘大カフェ～
- 09 図書館ショートストーリー「へば図書館さ行くべ」〈第2回〉
- 10 Library's Half Year
- 11 寄贈図書紹介
- 12 図書館員ちよこっ&コラム&編集後記

# No.52

# 第6回弘前大学附属図書館 POPコンテスト受賞者発表

図書館の利用促進及び読書推進を目的として2015年から始まった弘前大学附属図書館POPコンテスト、第6回を数える今回は計15点の応募がありました。今年の受賞POPと受賞者の方々の声を次のページで発表いたします。



弘前大学附属図書館では、2015年より毎年、図書館の利用促進や読書推進を目的としてPOPコンテストを開催しております。第6回を数える今年は、新型コロナウイルス感染症対策のために来館者数が減少するなか、メールでのご応募も受付することで、計15点の応募作品が集まりました。

作品はすべて該当図書と共に図書館本館の2階企画展示コーナーに展示されました。そして、来館者からのシール投票及び専用WebページからのWeb投票によって、全6作品の入賞が決定しました。

今回は壮大な銀河の写真で壮大なスペースオペラ『銀河英雄伝説』を紹介した農学生命科学部3年吉岡龍一さんが大賞を受賞し、とろけるチョコレートがまるで忍び寄る真実を表しているようなPOPで『チョコレートの真実』を紹介した人文社会科学部1年 Tran Thi Hoai Thuongさんが優秀賞を受賞しました。その他3名の方が、それぞれ工夫をこらしたPOPで佳作を受賞しました。また、今回もサンライズ産業株式会社様にご協賛いただき、サンライズ産業賞は、力強い筆致で『津軽先輩の青森めじゃ飯!』を紹介した教育学部2年互野初美さんが受賞しました。

今年は、密閉空間に受賞者が密集することを避けるため表彰式は行わず、それぞれの受賞者には図書館職員から個別に表彰状と賞品の図書カードが手渡されました。

受賞POPと該当図書は引き続き展示する予定ですので、気になる本がありましたらぜひ借りてみてください。

授業日程の変更やメディア授業の開始、更に図書館の開館時間変更や臨時休館などで、なかなか図書館を利用できないことも多かったと思います。そんな中でも、このようにたくさんのPOPが集まり、そのPOPを見て「読みたい!」と思った方が投票してくださったことをとても嬉しく思います。このPOPコンテストが、利用者の方々が新しい本と出会うきっかけになりましたら幸いです。

# 受賞作品&受賞者コメント

## 大賞

農学生命科学部 3年 吉岡 龍一



今回 POP に『銀河英雄伝説』を選んだ理由は、本作が単なる宇宙規模の戦争を題材にした SF 小説ではなく、正常に機能しなくなった恐ろしい民主政治の描写によって政治のあるべき姿を考えさせてくれる作品だからです。そしてこの作品が図書館にも所蔵されていることを知り、是非他の人にも読んでほしいという思いから POP コンテストに応募しました。POP 作成にあたっては、本作の壮大な世界観を表現するために星雲の写真を使用しました。

## 優秀賞

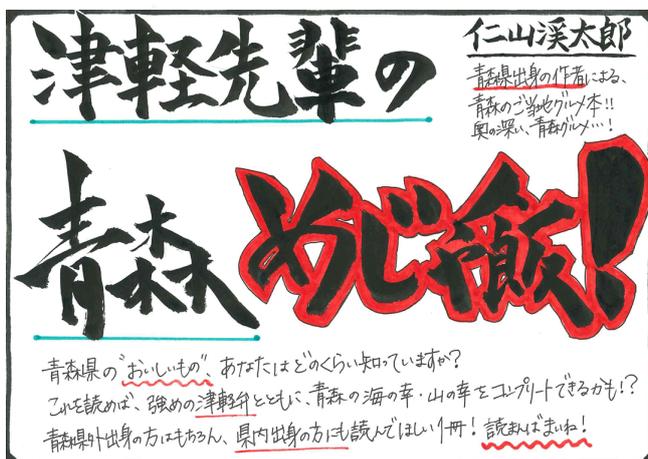
人文社会科学部 1年 Tran Thi Hoai Thuong



この度の第6回 POP コンテスト優秀賞をいただき、大変喜ばしく思います。ありがとうございます。『チョコレートの真実』という本は私が自分のお金をどのように使うか、どんな商品を買うかについて考えさせました。それで、この POP で「チョコレートの甘さの裏には苦い『真実』がある」というメッセージ伝えたいと思い、この本を選びました。今回のコンテストで、『チョコレートの真実』を多くの人々に知ってもらえるきっかけになれば幸いです。

## サンライズ産業(株)賞

教育学部 2年 互野 初美

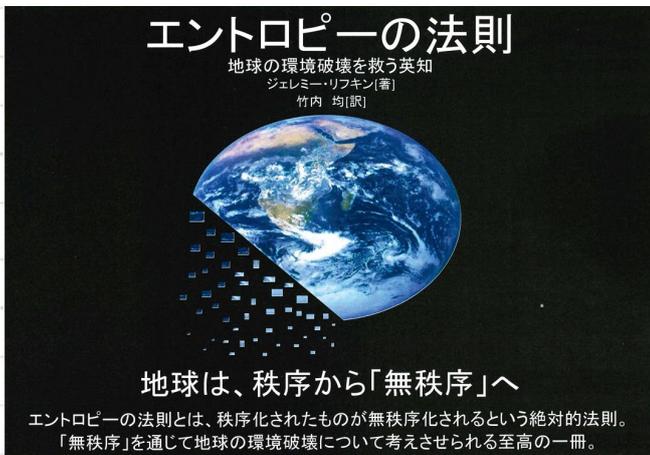


この度はサンライズ産業(株)賞をいただき、大変嬉しく思います。実を言うと、おすすめしたい本はたくさんあります。しかし、この POP を目にするほとんどの人が弘前大学生と想定して、青森の美味しい魅力を知るきっかけになるのではないかと思い、この本を選びました。とても読みやすいので、この本をはじめとして他の本も手にとったり、皆様の読書生活を豊かにしたりするきっかけのひとつになれば…、と思います。ぜひ読んでみてください。

受賞者の方々から、この本を選んだ理由や、応募したきっかけや、POPについて工夫した点などについてコメントをいただきました。

## 佳作

医学研究科1年 石合 崇人

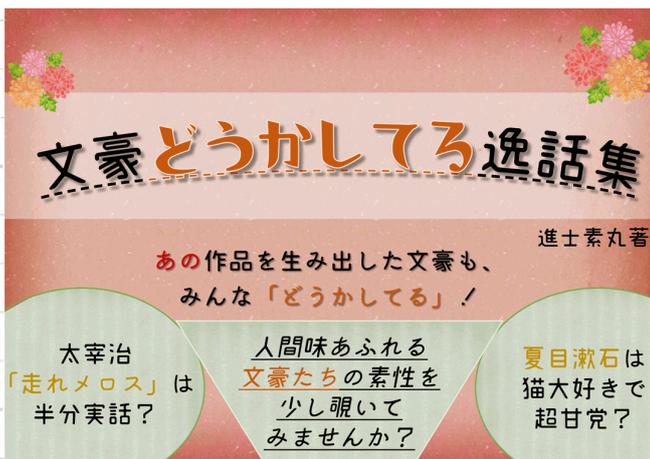


此度は佳作に選出していただき、本当にありがとうございます。本コンテストの関係者の皆様にもこの場を借りて御礼申し上げます。

この本は私が以前ご指導を賜った K 氏に薦められ読むに至りました。本書を読んだ後でエントロピーの法則が地球や人間の在り方を考える上で極めて重要な法則であることに気付かされ、多くの方にこの法則の偉大さを知って頂たく思い POP を作成しました。今回の受賞を契機に多くの方にこの本を読んで頂ければ幸いです。

## 佳作

人文社会科学部2年 工藤 祐美子



この本には、レポートの参考資料探しの際に出会ったのですが、レポートのことを忘れて読みふけてしまうほど面白く、「文学」「文豪」というものへの堅いイメージを和らげてくれる良い本だと思いました。そのため POP 作りでは、「文豪」と呼ばれた人達も私達と同じ等身大の人間だ、ということが伝わるようなキャッチコピーを1番に考え、それが活きるようなデザインになるよう工夫しました。賞を頂けたことはもちろん嬉しいですが、期間中何度かこの本が貸出中になっていたことが何より嬉しく思いました。

## 佳作

理工学部3年 佐藤 司



まずタイトルが強いです。この本だったら人目を引ける。また、大学生が読まなそうなジャンルの本ですので、手に取って見た学生が新しい刺激を受け、読書に興味を持つ機会を増やすことができたらいいなと思いました。以上がこの本の選択と応募の理由です。

デザインは、どうタイトルを見せるか考えた結果、某アニメの次回予告風のレイアウトにしました。工夫ポイントは、文字の大きさ、配置、色合いなどの細かいバランス感です。

## 図書館長 に聞く

令和2年4月1日より就任された、図書館長今井正浩先生に、この半年間の振り返りと今後の抱負についてお聞きました。

——4月から図書館長に就任されましたが、これまでの半年間を振り返っての所感をお聞かせください。

図書館の通常業務に加えて、新型コロナウイルス感染防止対策、雑誌棟の改修にともなう業務への対応等、緊張感のある毎日をお過ごしています。幸い、三上豊事務長をはじめ、図書館事務職員の方々の努力、教職員の方々や学生諸君のご協力によって、業務を進めてくることができました。皆さんに感謝したいと思います。

——今井館長のご専門は西洋古典学ということですが、学生時代はどのように大学図書館を利用されていましたか？

大学生時代のわたくしにとって、図書館は、いわば生活空間の一部であったと思います。平日の授業のない時間帯の多くを大学の図書館で過ごすのが、日課のような日々でした。目的があって図書館を利用するというだけでなく、そこにいと、知的好奇心が触発されるというか、不思議な経験でした。そこに集う人々の「知への志向」が、一か所に凝縮した結果、醸し出される雰囲気というのは、図書館特有のものではないでしょうか。

本学の学生諸君（とくに新入生）も、わたくしと同じような経験を、本学の図書館を通して、ぜひ追体験していただきたいものです。

——館長の考える「大学図書館」について、お聞かせください。

「大学図書館のもっとも重要な役割とは何か」との問いに対しては、いささか抽象的な表現になりますが、「大学の知性を体現する場」としての役割であると答えます。以前、イギリス滞在中、ロンドンの大英図書館に赴いた時、哲学者フランシス・ベーコンの「知は力なり」という言葉の重さを改めて実感しました。

大学図書館である以上、各専門分野の図書をはじめとして、学術資料等が充実していること、それらが知的関心の高いすべての人々に開かれていることに、大学図書館としての非常に重要な存在意義があると考えています。

——今後の抱負をお聞かせください。

昨今、各大学の研究成果の集積と発信の場、地域社会に開かれた教育研究の場等としての大学図書館の機能強化が一層もとめられているという状況にあります。その中で、本学の図書館が果たすべき社会的使命をしっかりと担っていくことが非常に重要であると考えています。

これを実現するためには、先ほど申し上げたように「大学の知性を体現する場」としての大学図書館の重要な役割をしっかりとふまえて、その運営体制や機能を、デジタル化の実現に向けて急速に進んでいる社会全体の動向に合わせて、一層強固なものにしていく必要があるのではないのでしょうか。



### 附属図書館長

今井正浩 IMAI Masahiro

弘前大学人文社会科学部教授

早稲田大学卒 東京大学卒

専門／西洋古典学

### ～館長の素顔～

Q.座右の銘は？

「謙虚」と「寛容」（いずれも聖書から学びました）

Q.ご趣味は？

切手収集（1970年の大阪万国博覧会前後の切手ブームの生き残り）

中国拳法（1980年代の中国武術ブームの生き残り一年齢を重ねても、体が覚えています）

Q.休日の過ごし方は？

読書と散歩（弘前市は歴史文化の香り豊かな街なので、散歩に出るたびに、新しい発見があります）

Q.最近うれしかったことは？

図書館長に就任したことで、学内外の多数の方々と新しい繋がりをもつことができました。

# 本との 出会いを 楽しむ

## 第 25 回

### 教師の本棚

#### 「大切なあなたへ」

### 花田 美衣

弘前大学教育学部卒業。平川市で臨時講師として勤務した後、中学校教員として三八管内に採用。いくつかの学校を経て、現在は小中一貫三戸学園三戸町立三戸中学校に勤務しながら教職大学院に在籍。



現在、中学校で理科の教員として働いています。学級担任をしているとき、学級の一角に学級文庫を置くようにしています。私が学級文庫として置く本は、学級“文庫”とはいうものの、小説や学術書もあれば、写真集、誌集、漫画など、種類はさまざまです。ジャンルを問わず、学級の子供達に読んでみて欲しいと思うものを選んでいきます。時には道德の授業の教材として使うこともあります。今回は、その学級文庫の中から、一冊の絵本を紹介させていただきます。

絵本というと、小さな子どものためのもの、というイメージが強いかもしれません。確かに、絵本の多くは基本的に子どもを対象に作られており、絵・文章・構成ともにシンプルで分かりやすいものがほとんどです。しかし、近年では「大人の絵本コーナー」がある書店も見られ、年齢を問わず楽しめるものがたくさん紹介されています。

『世界でたったひとりの大切なあなたへ 12の贈り物』もまた、幼児期の子どもよりは大人の方が心に響くと思います。すべての人に平等に授かっている「12の贈り物」。それらが一つ一つていねいに優しい言葉で、美しい絵とともに綴られています。著者シャーリーン・コンスタンゾ自身が、ご自分の子どもたちに向けて書かれた本です。親として子に伝えたいことが、「12の贈り物」としてまとめられています。そして最後に、もうひとつ、最高の贈り

物が授けられていることが明かされます。それは、一番身近なものです。しかし、身近すぎて知らず知らずのうちに、一番おざなりしてしまいがちなもの。何だかわかりますか？…正解は「あなた自身」です。

道德でこの本を紹介するのは、この最高の贈り物である「あなた自身」を大切にしたいという願いを伝えたいときです。思春期になると、自分を肯定できなかったり、他の子に対する嫉妬から問題を起こしたりすることがあります。そうならないためにも、ありのままの自分を受け入れ、一度きりの人生を素晴らしいものにするためにも…。子ども達にはたくさん可能性があります。自分を信じて大切に生きていけば、さらにもっと可能性が広がるはずですよ。

進路に悩んだとき、自信を失ったとき…読む時々の自分のコンディション・状況によって、自分の中にずっと入ってくる言葉が違う気がします。どんなときにもそっと心に寄り添ってくれる一冊だと思います。是非『世界でたったひとりの大切なあなたへ 12の贈り物』をご一読下さい。  
(はなだ よしえ)

### 本館所蔵

「12の贈り物  
世界でたったひとりの  
大切なあなたへ」  
C.Constanzo 著  
黒井健 訳・絵

726.6  
C88j

開架図書 (本館 2F)



# 本を持って出かけよう

…… 第1回 ……………  
太宰治と弘大カフェ

旅に出たいと思いました。ここではない何処かへ行きたいと。どうして人は旅に出たくなるのでしょうか。

太宰治の『津軽』の中にはこんな一文があります。

「ね、なぜ旅に出るの？」

「苦しいからさ」

人は誰でも、大なり小なり「生きづらさ」を抱えているものだと思います。『人間失格』の「彼」が人間失格なのだとしたら、一体誰が「人間合格」なのでしょうか。

大学の正門を出て左に曲がり少し歩いたところに、レトロで瀟洒な建物があります。今は弘大カフェになっているこの建物、旧制弘前高等学校外国人教師館ができたのは1925年。太宰治が旧制弘前高校に入学したのが1927年。当初は弘前市富田に建築されましたが、2004年に現在の場所に移築されました。そして、弘前大学創立70周年記念事業の際には、周辺が小公園として整備され、新しく太宰治の記念碑・像（レリーフ）が建立されました。

太宰の像と、太宰と同じ時代を過ごした建物と共に、太宰の作品世界に旅をしてみるのもいいかもしれません。

## 弘前大学附属図書館 太宰治研究文庫

太宰治没後50周年（平成10年）を記念する研究整備事業（教育学部）によって収集された資料を中心として、弘大図書館本館2階に設置されました。太宰についての研究書や太宰の著作、全集、雑誌「太宰治」「太宰治研究」等があります。

## 弘大カフェ 成田専蔵珈琲店

〒036-8224

青森県弘前市文京町1（弘前大学内）

定休日：月曜日（月曜が祝日のときは営業）

営業時間：10:00～18:00

TEL: 0172-55-5797





# へば図書館さ行くべ 第二回

前回までのあらすじ

授業中にうっかり居眠りをしてしまったサキは、レポートを作成するために友人と図書館を訪れるのだった。

「ここが図書館か〜」

実は大学に入ってから、図書館に来るのは初めてだった。何やら通つてはいけない雰囲気ゲートがある。

ヒロは慣れた手つきで何かをピツとかざして、さっさとゲートの向こうに行つてしまった。え、どうしよう。私がゲートの前であわてていると

「学生証」

「う、うん」

よくみるとゲートには「学生証の裏のバーコードをかざしてください」って書いてある。そっか。このバーコードって、こういうときに使えるんだ。

財布から自分の学生証を出してそこに当てると、ピツと音がしてゲートが開いた。おお。ちょっと楽しいかも。

「で、図書館で何をやるの？」

先に入ったヒロは、さっさと歩いて行つて、柱のところにあるパソコンの前で止まった。

「レジユメの最後。参考文献が書いて

らべ？」

「えっと…」

さっきの授業で配られたレジユメ。確かに、最後の項目は参考文献リストになっている。

「この本を読めば、今日の授業内容の補足になるはんで」

「あるの？この本。ここに？」

「ほら」

画面に映っている白い四角に、ヒロが慣れた手つきで本のタイトルを打ち込んでいく。そして、検索ボタンをクリックすると…

「ほら、あつたべ？」

「へえ〜！こんな風にして調べられるんだ〜！」

本の表紙とタイトル、あとよくわからないけど、いろいろな情報が表示されている。

「で、この本はどこにあるの？」

「こさ書いてらべさ。開架二階」

「かいか？」

「開かれている、オープンな書架…本棚ってこと。その階段で二階さ行けばフツーにあるはんで」

◆◆◆

「いや、フツーって言われても…」

階段を上つて左に曲がったところで、私は茫然とした。

「めちゃくちゃ多いんですけど！」

右を見ても左を見ても、見渡す限り本棚がズラリと並んでいる。いくつあるのか数えようとして、八くらいで諦めた。

「こ、この中から探すの…？」

背表紙を見ながら端から端まで歩くのを想像すると眩暈がする。

「大丈夫だつて」

ヒロはスマホをじつと見てから、顔を上げて迷いなく歩き出した。ちらつと見えた画面には、さっきの本の情報が映っている。いつの間撮ったんだ

ろう。

「こさ番号書いてらべ？」

よく見ると、並んでいる本の背には数字とアルファベットが書かれたシールが貼つてある。この三段の形、さっき見た画面にもあつたような。

「図書館の本は、請求記号…この番号順に並んでるはんで」

一番上の番号が優先で、一番上の番号が同じ本は二段目の英数字の順に並んでいる…らしい。

「…なるほど？」

この番号が何を示しているかはまだわからないけど、この英数字を頼りに探せば、この本を見つけれられるってことは、わかつた。

「えーつと、じゃあ三…？」

ちょっと宝探してみたいだなあ。

つつく





# Library's Half Year

2020.6～



6月	6/1 POP コンテスト作品募集開始 (～8/6)
	6/17 電子ジャーナルアンケート実施 (～6/30)
7月	7/3 一般利用者への貸出サービス、 来館前予約サービスを開始
	7/14 「学認を使ったログイン方法」公開 7/20 時間外開館再開 (本館)
8月	8/1 改修工事のため、本館雑誌棟閉鎖 (～2021.4)
	8/19 POP コンテスト投票開始(～10/31) 8/31 時間外開館開始 (分館)
9月	9/18 電子ジャーナルアンケート集計結果公開 9/23 秋の文献検索ガイダンス開始
	9/30 サーモグラフィカメラ設置 (本館)
10月	10/1 本館2階ラーニング・ commonsの 個人学習向け開放
	10/1 ハブブックセンター「ひと棚」連動 企画「図書館長の本棚」展示開始
11月	10/15 APC 割引プログラム (IOAP) 参加 10/16 12時～10/19 臨時休館 (2館)
	10/19 ヨミダス歴史館同時アクセス拡大 11/2 利用者アンケート実施 (～11/20) 11/16 第6回 POP コンテスト受賞者発表 11/17 聞蔵Ⅱ同時アクセス拡大 11/30 豊泉第52号 Web 公開

この半年間、弘大図書館は新型コロナウイルス感染症対策として様々な策を講じながらの開館を行ってきました。閲覧席やラーニング・ commonsは利用制限せざるを得ず、館内での各種ガイダンスや講習会も開催できないため、図書館内は静けさが際立っていますが、それは私たち図書館職員に「図書館の存在意義」について問いかけているようです。

コロナ禍にあっても皆さんの「学び」に役立ちたい…そんな思いから、こんな時こそ図書館ができることは何かを日々模索し続けています。オンライン授業でご活用いただけるガイダンス動画の公開をもその一つですし、自宅等から電子リソース (ジャーナル・データベース・ eBook等) を利用するための支援や、臨時で出版社等から提供される様々なオンラインサービスの情報提供など、随時改善をしながら取り組んでいます。

今もって、新型コロナウイルス感染症は図書館の運営に様々な制約となって現れています。しかし見方を変えると、経験したことのないようなこのピンチが私達にはチャンスになるのかもしれない。本を借りる、本を読む、静かに勉強する…従来の図書館が担ってきた機能にとどまらず、電子媒体を含む蔵書構成の充実やそれらへのアクセス支援等、専門職としてできる様々なサポートとよりよいサービスを提供できるよう努力していきたいと思えます。



## 寄贈図書紹介

本学関係者の著作で、図書館に寄贈された図書資料をご紹介します。(令和2年4月～令和2年9月受贈分)

寄贈者	書名	著者・編者	出版社	冊数	所蔵先
丹治 邦和 (医)	植物はなぜ毒があるのか：草・木・花のしたたかな生存戦略	田中修, 丹治邦和	幻冬舎	1	分館1
弘前大学山岳部	弘前大学山岳部初の海外遠征：中部ヒンズー・クシュ：コー・イ・パンダカーを目指して(6843m)	弘前大学山岳部・山の会	弘前大学山岳部・山の会	1	本館1
弘前大学山岳部	弘前大学山岳部2度目の海外遠征：カラコルム・ヒマラヤ：テラム・カンリIII峰(7382m)	弘前大学山岳部・山の会	弘前大学山岳部・山の会	1	本館1
弘前大学山岳部	弘前大学山岳部ヒマラヤへの挑戦：ネパール・ヒマラヤ：ヒムルン・ヒマール(ネムジュン)：1982 1983	弘前大学山岳部・山の会	弘前大学山岳部・山の会	1	本館1
弘前大学出版会	基礎物理学実験の手引き(地球環境防災学科) (2020-2022年版)	弘前大学理工学部地球環境防災学科	弘前大学出版会	1	本館1
弘前大学出版会	基礎物理学実験の手引き(自然エネルギー学科) (令和2・3・4年度版)	弘前大学理工学部自然エネルギー学科	弘前大学出版会	1	本館1
弘前大学出版会	電子情報工学実験II (2019年版)	弘前大学理工学部電子情報工学科	弘前大学出版会	1	本館1
弘前大学出版会	電子情報工学実験II (2020年版)	弘前大学理工学部電子情報工学科	弘前大学出版会	1	本館1
弘前大学出版会	暗号技術を支える数学：The Mathematics behind Cryptography	長瀬智行, 吉岡良雄, 別宮耕一	弘前大学出版会	2	本館2
水沼 英樹* (名)	基礎から学ぶ女性医学	水沼英樹	診断と治療社	1	分館1
南 修平 (人)	2019年度アメリカ研究ゼミ卒業論文集	弘前大学人文学部現代社会課程国際社会コース, 弘前大学人文社会科学部文化創生課程多文化共生コース	弘前大学人文学部 弘前大学人文社会科学部	1	本館1
保田 宗良 (人)	青森県地域の消費者問題の調査研究	弘前大学人文社会科学部消費者教育推進事業報告書編集委員会	弘前大学人文社会科学部消費者教育推進事業報告書編集委員会	1	本館1
山田 巖子 (人)	野辺地町の祭りと民俗：青森県上北郡野辺地町	弘前大学人文社会科学部民俗学実習履修学生	青森県上北郡野辺地町	1	本館1

敬称略。寄贈者名の50音順。カッコ内は寄贈者所属。(人)：人文社会科学部、(医) 医学研究科、(名)：名誉教授

\* ご遺族より寄贈

### 弘大生の皆さん必見！電子リソースを使いこなす秘訣がここにあります。



「電子ジャーナルってどこから利用すればいいの?」「学外からは使えるの?」「目的の文献が弘大で所蔵していない場合、どんな方法なら読むことができるの?」といった電子リソースの利用に関して寄せられるご質問について、**使い方を簡単に説明したガイド**を作成し、附属図書館HPに掲載しています。画面例を添えた簡単なマニュアルです。ぜひご活用ください。

<http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/journal/pathnavi/index.html>

電子リソース活用のためのガイド **Compass** 随時更新中!

## ◆編集後記

今年も力作揃いだった POP コンテスト。自分が POP を書いた本が借りられると、とっても嬉しいんですね。今年応募できなかった方も、来年はぜひ…！（参考調査担当 Maru）

この数ヶ月を振り返ってみれば、新型コロナウイルスに振り回された日々でした。毎年行っていたイベントやガイダンスも無くなり、会議はオンライン。少しでも学生さんの気持ちがわかるかも。（医学部分館担当 Saito）

Half Year のページを担当しました。得意分野は電子リソース。学外から図書館資料をフル活用できる方法を全力でサポートします。困ったことがあれば、いつでもご相談ください。（雑誌情報担当 Suda）

## 弘前大学附属図書館報「豊泉」 第 5 2 号

発行日：令和 2 年 1 1 月 3 0 日

発行：弘前大学附属図書館

編集：弘前大学附属図書館広報委員会  
〒036-8560

青森県弘前市文京町 1

TEL 0172-39-3162

FAX 0172-39-3171

## ◆◆◆◆◆図書館員ちょこっとコラム◆◆◆◆◆

学生の皆さんは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、メディア授業の間は、図書館を利用する機会がほとんどなく、1年生の中には10月に初めて図書館を利用する方も多かったことかと思えます。今年は図書館ガイダンスも開催できず、図書館の利用について、職員が直接案内できなかったため、利用方法がわからない1年生もいるかと思えます。附属図書館では、オンラインでガイダンス（基礎ゼミ用、文献検索用）を受講できるよう動画を用意しておりますのでぜひご利用ください。

さて、図書館の建物の様子が変わったのはご存知でしょうか。教育学部側の建物（雑誌棟と呼んでいます）が改修となるため、現在工事中です。工事期間中は騒音等で皆さんにご迷惑をかけることになってますがご了承願います。また、雑誌棟にある資料は来年3月頃まで利用できませんので合わせてご理解願います。来年4月には皆さんに新しい図書館をお披露目できるかと思いま

すので乞うご期待ください。詳細は『豊泉』次号 53 号で紹介します。

先日、郷土資料関係を整理していたところ、お宝？を発見しました。「機動戦士ガンダム」を手掛けた安彦良和さんが大学を除籍された後、生計を立てるためカットを描いていた弘前のタウン誌『Q都』4冊です。いつか皆さんにお披露目できればいいなと思っております（『Q都』については末尾に\*印付記）。このように附属図書館の書庫のどこかに貴重な資料が眠っている可能性があります。少しずつですが、検索できるように登録するか、登録できないものはリスト化してホームページ等で公開していきたいと考えております。（みかみ ゆたか）

\*タウン誌『Q都』について  
安彦良和、齊藤光政著『原点：戦争を描く、人間を描く = The origin』岩波書店、2017、p.208-209  
本館 1 階地域志向J-ナ 726.1||Y64g

### 【弘大図書館公式 twitter】

弘大図書館に関する情報を発信しています。お気軽にフォローしてみてくださいね。「#弘大図書館」のハッシュタグで、「弘大図書館のここが好き!」「弘大図書館でやってほしいこと」「豊泉読んだ」などのご意見・ご感想を募集中!

@HirosakiUnivLib



### 【弘大図書館ガイダンス動画 YouTube】

図書館職員が作成したガイダンス動画を YouTube で公開しています。館内ツアーや文献検索など、役立つ情報が盛りだくさんです。ぜひご利用ください。

<http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/guidance/guidance.html>

ガイダンス動画

